

計算問題の  
正しい解き方ドリル 5年  
おかわり問題 解答解説

① 小数のかけ算・わり算

- 1 ① 25.44 ② 2.4948 ③ 6.93

ポイント

・積の小数点は、かけられる数とかける数の小数点から下のけた数の数の和だけ、右から数えてうちます。

①かけられる数5.3とかける数4.8の小数点は、どちらも右から1けたについているので、答えの小数点は、 $1+1=2$ で、右から2けたのところのうちます。よって、答えは、25.44になります。

②かけられる数もかける数も小数点から下のけた数が2けたなので、積の小数点は右から4けたのところのうちます。

③積の小数点をうち、小数点より下のけたの最後の位が0のときは、必ず消すようにします。

- 2 ① 0.525 ② 4.75 ③ 6.5

ポイント

①商の小数点は、わられる数の小数点の位置にそろえてうちます。

②③わる数が小数のときは、わる数を整数にするために、わる数とわられる数の小数点を同じ数だけ右に移します。このとき、商の小数点は移した位置にそろえてうつように注意しましょう。

- 3 ① 19あまり0.3 ② 3.6あまり0.11  
③ 0.6あまり0.03

ポイント

あまりの小数点は、わられる数の小数点の位置にそろえてうちます。小数点が移動したときは、わられる数のものと小数点の位置にそろえることに注意しましょう。

② 3つの数の計算、分数のたし算

- ① 24.36 ② 3.8 ③ 12.13 ④  $\frac{5}{7}$   
⑤  $1\frac{5}{9}\left(\frac{14}{9}\right)$  ⑥  $4\frac{4}{5}\left(\frac{24}{5}\right)$  ⑦  $3\frac{6}{11}\left(\frac{39}{11}\right)$   
⑧  $3\frac{7}{9}\left(\frac{34}{9}\right)$  ⑨  $3\frac{2}{5}\left(\frac{17}{5}\right)$  ⑩  $5\frac{4}{7}\left(\frac{39}{7}\right)$

ポイント

①～③小数の計算の場合も、整数のときと同じように、かっこがあるときは、かっこの中を先に計算します。かっこがないときは、かけ算やわり算を先に計算します。

④～⑩分母が同じ分数のたし算は、分母そのままにして分子だけたします。帯分数のたし算は整数部分と分数部分に分けて計算します。

③ 分数のひき算・たし算

- ①  $\frac{4}{7}$  ②  $\frac{8}{13}$  ③  $1\frac{4}{9}\left(\frac{13}{9}\right)$  ④  $1\frac{7}{11}\left(\frac{18}{11}\right)$   
⑤  $\frac{13}{15}$  ⑥  $1\frac{23}{30}\left(\frac{53}{30}\right)$  ⑦  $3\frac{31}{70}\left(\frac{241}{70}\right)$   
⑧  $4\frac{7}{24}\left(\frac{103}{24}\right)$  ⑨  $2\frac{3}{4}\left(\frac{11}{4}\right)$  ⑩  $3\frac{2}{5}\left(\frac{17}{5}\right)$

ポイント

①～④分母が同じ分数のひき算は、分母をそのままにして、分子だけひきます。帯分数のひき算は、整数部分、分数部分に分けて計算します。分数部分がひけないときは、整数部分から1くり下げてひかれる数の分数部分を仮分数かぶんすうになおします。

⑤～⑩分母がちがう分数のたし算は、分母の最小公倍数さいしょうこうばいすうを考えて通分して、分母が同じ分数になおします。仮分数や帯分数の分母がちがうたし算も同じようにします。分数部分が約分やくぶんできるときは、必ず約分して約分します。

④ 分数のひき算、分数と整数の計算

- ①  $\frac{3}{14}$  ②  $\frac{19}{24}$  ③  $1\frac{1}{12}\left(\frac{13}{12}\right)$  ④  $1\frac{24}{35}\left(\frac{59}{35}\right)$   
⑤  $1\frac{1}{2}\left(\frac{3}{2}\right)$  ⑥  $\frac{1}{10}$  ⑦  $6\frac{2}{3}\left(\frac{20}{3}\right)$   
⑧  $6\frac{7}{8}\left(\frac{55}{8}\right)$  ⑨  $\frac{9}{35}$  ⑩  $1\frac{2}{9}\left(\frac{11}{9}\right)$

ポイント

①～⑥分母がちがう分数のひき算は、たし算と同じように分母の最小公倍数を考えて通分して、分母が同じ分数になおします。仮分数や帯分数の分母がちがうひき算も同じようにします。

⑦⑧分数に整数をかける計算は、分母をそのままにして、分子に整数をかけます。

⑨⑩分数を整数でわる計算は、分子をそのままにして、分母に整数をかけます。約分できるときは、とちゅうで約分すると、あとの計算が楽になります。

⑧⑩帯分数のかけ算やわり算の場合は、帯分数は必ず仮分数になおしてから計算します。